



環境配慮のあゆみ

1955

新しい時代の住生活を提案

280 万戸の住宅不足を解消するため、1955 年に日本住宅公団を設立。



1965

高度経済成長を支えた技術開発

人口集中に対応すべく、ニュータウン開発や住宅供給の技術開発を推進。



1975

量から質への転換

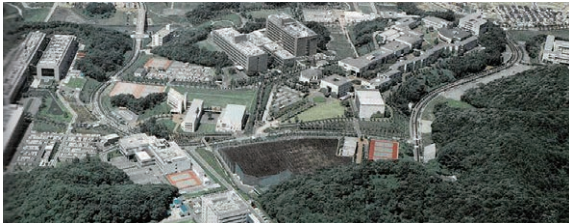
省エネの推進や多様化する生活に
える質の高い居住環境を整備。



1985

複合的なまちづくりへ

社会情勢の変化と並行し、
住宅主体の開発から移行。



1995

都市基盤の再整備を推進

震災復興支援をはじめ、密集市街地
の改善や工場跡地の利用転換を実施。



2005

政府の掲げる都市再生を推進

人が輝く都市を目指して、美しく安全
で快適なまちをプロデュース。



2015

URが目指す「人が輝く都市」へ

都市再生の推進、ミクストコミュニティの実現、
大規模災害からの復旧・復興等を推進します。



環境活動													
1956 ・汚水処理施設開発、建設 1959 ・自然地形と現況林を保存した団地整備		1965 ・浸透工法の採用 1966 ・真空集塵システム ・洪水時だけ水がたまる低床花壇 1969 ・歩車分離、日本初の歩行者専用道路	1973 ・土地の有効利用と安全性の確保	1976 ・ゴミ焼却排熱利用の地域冷暖房 1977 ・屋根外断熱本防水工法 1978 ・中水道を活用したせせらぎ	1981 ・雨水地下浸透工法試行実施 1982 ・生物保護区を指定した公園整備 1984 ・住棟太陽熱利用給湯システム ・緩傾斜堤防の計画策定	1987 ・ヒートポンプと排熱利用のコンパクトエネルギーシステム ・雨水を修景施設に活用 1988 ・植栽が育ちやすい土壌改良	1990 ・コージェネレーションシステムの導入 1991 ・河川水利用給湯システム 1992 ・コンクリート塊の再利用 ・伐採樹木によるチップ舗装 ・調整池を活用したピオトープの整備 1993 ・流域水環境総合整備モデル事業認定第1号	1996 ・グリーン・バンク・システムの本格実施 1997 ・太陽光発電集中連携システム 1999 ・生ゴミコンポスト	2000 ・ピークアラーム機能付分電盤 2001 ・リサイクル発泡三層塩ビ管・分別解体 ・超節水型便器 ・屋上ピオトープ 2002 ・KSI 住宅 ・ディスポーザー 2003 ・次世代省エネ基準の導入 ・環境共生住宅認定 ・地域資源を活かした環境共生型まちづくり 2004 ・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム ・潜熱回収型給湯暖房機	2005 ・再生コンクリートを利用した集会所 ・市民緑地制度を活用した街山づくり 2006 ・街区全体を CO₂ 20%削減する住宅計画の民間事業者誘導 2007 ・CO₂ ヒートポンプ式給湯機 ・「家庭の省エネ講座」の開催 ・住棟単位での改修技術の開発「ルネッサンス計画」 ・地域生態系に配慮したシミュレーション技術の開発 ・海のピオトープ（潮入りの池、生態護岸） 2008 ・電動自転車シェアリング	2010 ・街区全体で CO₂ 70%削減を義務付けた「低炭素モデル街区」による民間住宅事業者誘導 ・UR賃貸住宅の大規模な環境配慮の推進発表 2013 ・UR/パワー ・メガソーラー 2014 ・省エネ災害公営住宅の竣工 ・洛西ニュータウン団地リノベーションプロジェクト ・大手町川端緑道 ・苗木採集プロジェクト	2015 ・在宅医療・介護・リハビリを提案・体験できるモデルルームの開設 2017 ・「ベイシティ晴海」の完成 2018 ・既存広場のリニューアルによる地域活性化 ・「大手町プレイス」の完成 2019 ・地方都市再生に資する既存建物のリノベーション	2020 ・「コモレ四谷」の完成 ・「IKE・SUNPARK」開園 2021 ・「安満遺跡公園」全面開園 ・「鶴見花月園公園」開園 2022 ・「千葉市蘇我スポーツ公園」全面開園 2023 ・長岡市大手通坂之上町地区で機構初のZEB認証を取得した施設建築物が竣工
昭和 30 年代 ・日照を重視した住棟の南面平行配置 ・団地内のオープンスペース・プレイロットの連結による歩行者空間の充実		昭和 40 年代 ・広域専用水道システムとの連携化											

社会貢献活動													
1955 ・食寝分離（DKスタイル）、就寝分離（個室）の提案 1956 ・集会所 1957 ・1DK 住宅の供給 1958 ・団地ファニチャーへのアーティスト登用 1959 ・テニスコートの整備			1971 ・共同菜園 1972 ・親子ベア住宅 ・ホーロー浴槽 ・自然林復元の市民運動「どんぐり作戦」	1975 ・タウンハウス 1978 ・コーポラティブ住宅 1979 ・バリアフリー住宅	1981 ・ニューモデル中層住宅 1982 ・市民参加型公園計画 1983 ・全電化住宅 1984 ・システムキッチン	1985 ・自然保護団体との協働によるカタクリ移植	1990 ・シニア住宅 1993 ・デザインガイドライン 1994 ・パブリックアート ・小学生参加のワークショップによる公園づくり	1995 ・震災復興まちづくり ・ユーマイク住宅 1996 ・常時小風量換気システム ・緑のワークショップ 1998 ・南芦屋浜団地コミュニティ&アート計画 1999 ・NPO フェージョン長池とネイチャーセンター	2000 ・階段室型共同住宅 EV、高齢者仕様 EV 2002 ・黒川はるひ野 グリーンネットワーク活動 2003 ・スーパー防犯灯 2004 ・シックハウス対策最高等級仕様	2005 ・安全・安心まちづくり協議会 ・市民緑地制度を活用した街山づくり	2013 ・全国団地景観サミット作品展 2014 ・防災公園「桜の森公園」の竣工	2015 ・明和池公園の竣工 ・エリアマネジメント活動拠点「ひばりテラス」の完成 2016 ・病後児保育施設のオープン ・くらしのサポートサービスの開始 ・「さくらの森植樹祭」の実施 ・豊間・薄磯防災緑地植樹祭の実施 2017 ・川辺のまちづくりの開始 ・介護予防、生活支援サービス事業「通所型サービス」 ・街路樹植樹イベントの実施 ・地域、UR都市機構、行政の連携による斜面林活用	2020 ・渋谷駅地下に大規模雨水貯留槽を整備 2023 ・「URまちとくらしのミュージアム」開館

1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
1954 高度経済成長期の始まり	1964 東京オリンピック		1970 日本万国博覧会 1973 第1次オイルショック	1979 第2次オイルショック	1980 年代 情報産業の発展期	1986～1991 バブル景気		1995 阪神・淡路大震災		2008 リーマンショック	2011 東日本大震災	2016 熊本地震	2020 新型コロナウイルス感染症
1955 日本住宅公団設立					1981 住宅・都市整備公団設立				1999 都市基盤整備公団設立	2004 独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）設立			
					1975 宅地開発公団設立								
					1974 地域振興整備公団設立								